

郷土資料

あれこれ 79

【問合せ】

社会教育課 郷土史編さん係

☎7733-2197

天までもひびく ほら貝修験の里

南魚沼では、八海山を中心に修験道の修行者による儀式が、ほら貝を吹きながら広がって行われていま

す。ほら貝は、音が大きく、力強く遠くまで響くので、もろもろの合図のほかに生活を妨げる悪魔を退散させ、儀式におごそかさを与えるとともに、人びとの抱く煩惱(心の迷い)を払い、人びとの気持ちを落ち着かせ、平安に導くのだそうです。(大和歴史かるた)

写真1 昭和33年清水巻機権現社火渡り勤行



【新潟地域映像アーカイブ提供】

ホラガイ(法螺貝)は、フジガイイ科に属する巻貝の一種で、日本で産する最大級の巻貝です。大きなものは全長40cm、幅20cmにもなるとい



います。このホラガイの殻を利用し、殻の先端を数cm切り落とし、吹口(口金)を付けて、吹奏楽器にしたものが「ほら貝」になります。(吹口は欠損しています)

ほら貝は、先に紹介したように修験者の法具として、奉納、読経、修行や日常の情報・意思伝達に吹かれています。戦国時代では陣具として、戦の出陣の合図や戦意の高揚などのために吹かれました。

郷土資料あれこれ78追記

前回、紹介した「川舟物語」の続編を紹介いたします。

「川舟物語」の発刊の翌年(昭和39年)、六日町中学校の生徒たちは、信濃川筋についても調査・報告しようとして川舟研究サークルを発足させました。

魚野川と信濃川の川舟の比較、当時の社会の姿を探るため中魚沼地域の小原地区、宮中地区から調査を始め、聞き取り調査、古文書など関連資料の調査などが夏休み期間を利用して行われました。川舟の形体や運航状況、運営組織、農業や運輸など人びととの関わりなど丹念な調査結果はまとめられ、「川舟物語 付録千曲川」として昭和39年3月に発刊されました。(「魚沼新報」昭和39年3月25日)

この「付録千曲川」は、南魚沼市図書館にも所蔵されておらず、いまだに目にする事ができません。所蔵している、または所蔵先などを知っている人は、ご連絡をお願いします。



6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」

【問合せ】 学校教育課

☎7733-6700

新潟県では、学校、家庭、地域が連携して、いじめをはじめとする問題の解消と未然防止に、社会全体で取り組むことを目標に「いじめ見逃しゼロ県民運動」を実施しています。市では、市内の学校で「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催し、この運動を推進しています。

「いじめをしない。見逃さない。許さない。」を合言葉に、子どもたちを見守り、いじめを見逃さないようにしましょう。

わたしたちは、いじめを見逃しません! 許しません!

いじめ見逃しゼロ 県民運動

深めよう 絆にいがた県民会議 ◆ 新潟県教育委員会